

令和 8 年度 新潟大学 経済科学部

総合問題

学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

出題意図・解答例

〔 I 〕

設問 1

【解答例】現場とはあくまでも一般的な総称であり，抽象的，観念的な概念である。「現場に行ってきます」といえば，「場所」を表し，「現場の声を聞け」といえば，そこにいる「人たち」を指すため，定義することが難しい。(98 字)

設問 2

【解答例】筆者は，「現場」の「現実」は「リアリティ」のように完了形で固定化・対象化できるモノ的現象ではなく，「アクチュアリティ」のように絶えず変化し続ける出来事の只中にあって，身を持って経験される，一瞬も固定できないコト的現象として捉えるべきだと述べている。すなわち，現場は「生き物」のようであり，流動的で動的な実践の場である。(159字)

設問 3

【解答例】現場の力を最大限に引き出す経営とは，「現場」を単なる「場所」ではなく，絶え間なく変化し続ける「生き物」として捉えることである。そうした経営では，その変化の只中に身を置きながら，現場・現物・現実の三現主義を重視し，瞬間・断面に固執するのではなく，「1 回性」の出来事に「普遍」を洞察・発見する直観力および実践知を備え，未来を見通す姿勢が求められる。(172字)

令和 8 年度 新潟大学 経済科学部

総合問題

学 校 推 薦 型 選 抜
試 験 問 題

出題意図・解答例

〔Ⅱ〕

設問 1 (1) 低, (2) 2, (3) 1, (4) 1, (5) 1/2

設問 2

表 2

	食料 (トン)	自動車 (台)
日本 (10 人)	0	10
アメリカ (30 人)	60	0
合計	60	10

【解答例】食料 1 トンと自動車 1 台が同じ価値である場合, 両国が生み出す価値の合計は, 表 2 の通り比較優位を持っている財の生産に特化した場合が 70, 表 1 の通り特化しない場合が 55 となり, 前者のほうが大きい。(95 字)

設問 3

【出題意図】機会費用と比較優位の概念を踏まえつつ, 広くて肥沃な土地を持つアメリカの方が米の生産に適していると考えられる場合に米の輸入をどうすべきか, 国民の大多数を占める消費者の視点と米農家の視点の双方の観点からの考察を主要な論点として, 関税の軽重のみならず, 社会経済的な影響も含めて総合的な視点から考察してほしい。